

2025年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの障害者福祉とは一

研修のテーマ・企画ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの障害者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。
『ノーマライゼーション』の考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、
この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、
分かりやすく解説します。

- 1 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の**エーミル・オストベリ氏**がご案内します。
- 2 施設見学の回では、重症心身障害児・者のためのグループホーム/デイアクティビティセンターで実践している様々なケア方法について具体的に紹介します。
- 3 実際の視察しながら施設の雰囲気を感じられるよう、訪問者目線のビデオで施設内の様子をご覧ください。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

エーミル・オストベリ氏



オンライン研修の
経験も豊富！

スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館・大学・病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。



1日目：講義

日時：2025年10月1日(水)
日本時間 16:00~18:00

テーマ スウェーデン障害児・者福祉の現状

- スウェーデン障害児・者福祉の概要とその発展の歴史について
- ケアが必要な障害児・者へのサポートについて
 - ・LSS法が提供する支援（グループホーム、サービス住宅、デイアクティビティセンター、パーソナル・アシスタンス、コンタクトパーソンなど）
 - ・補助器具 ・ハウスアダプテーション ・教育システム
- 2日目の障害者施設の概要説明（事前に録画したビデオをご覧ください）
- 質疑応答

2日目：障害者施設見学

日時：2025年10月8日(水) / 10月9日(木)
日本時間 16:00~18:30

※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。
※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

テーマ グループホーム/デイアクティビティセンターにおける重度心身障害児・者への支援について

- 施設で実践している様々なケアについて
スヌーズレン/健康生成論・首尾一貫感覚/アクティビティ/自立支援/補助器具 など（施設職員がご説明します）
- 質疑応答

【見学施設一例】

Rödastugans gruppbostad
＜ロードストゥーガンス グループホーム＞



日中はデイアクティビティセンター。スヌーズレンルームがある。
コンタクト・パーソンシステムを取り入れている。

※見学施設名の確定は2週間前頃となります。

健康生成論

重度の障害があったとしても、一個人の人生として精神面の健康を得るために生活における様々な活動の目的を理解し、自身で判断できるように促すこと

首尾一貫感覚（SOC）

ストレスに対処する力を表す概念

オンライン会議システム「Zoom」を使用します

